

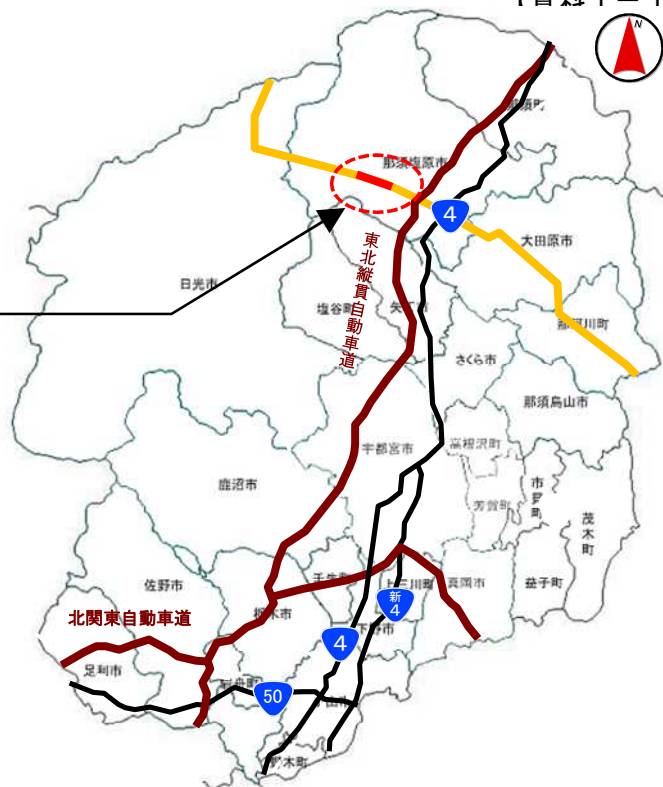
道路事業の再評価概要書

() は、前回評価時

番号		1	
事業主体		栃木県	
事業名	快適で安全な道づくり事業	事業所管課	県土整備部 道路整備課
路線・河川名	一般国道 400号	事業箇所名	那須塩原市 下塩原バイパス
事業区間	那須塩原市 関谷 ~ 塩原	事業延長	3,600m (4,600m)
H16年度事業化		H17年度用地着手	
H19年度工事着手			
事業期間	(H31) H16年度 ~ H32年度	事業進捗状況	基準年次：【平成30年度末時点】 進捗率
[うち用地補償費]	[7.0 (7.0)億円]	[うち用地補償費]	[5.9億円] [84%]
全体事業費	137.0 (150.0)億円	既投資事業費	113.6億円 83%
事業概要			
<p>国道400号は那須塩原市・大田原市等本県の北部地域を横断し、福島県会津地域へ至る幹線道路であるとともに、塩原温泉郷へアクセスする道路として重要な路線である。</p> <p>しかし、現道は幅員が狭く、急カーブが連続しているため、大型車のすれ違いが困難となっており、行楽期等に渋滞が発生し、交通の支障となっている。</p> <p>また、本路線は急峻な地形のため台風や豪雨時には土砂流出や斜面崩落が発生し、本事業区間と重複する4.0kmが連続雨量200mmで全面通行止めとなる異常気象時通行規制区間に指定されている。</p> <p>このため、安全・安心で円滑な交通を確保するとともに、本県の主要産業である観光の振興を図るため、トンネルを主体としたバイパスの整備を3工区に分けて進めている。</p> <p>異常気象時通行規制区間（基準値：連続雨量200mm以上）のうち塩原温泉郷側の約500m区間については、防災工事が完了し、平成27年に基準値以上の降雨を経験しても異常がなかったことから、学識経験者による検討委員会の審議を経て平成30年4月に規制が解除された。</p> <p>これにより、現在工事中の2期工区が供用されると異常気象時通行規制区間はバイパスによりすべて迂回できることとなるため、今回塩原温泉郷側の3期工区1.0kmの整備を休止する。</p>			
事業を巡る社会経済情勢の急激な変化、技術革新、事業計画の大幅な変更 等			
<ul style="list-style-type: none"> ・異常気象時通行規制区間の部分的な解除（3期工区に係る通行規制は全て解除） ・3期工区1.0kmを事業休止する計画変更 			
事業の投資効果			
1 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
(1) 事業全体	B/C = 1.4	238億円	173億円
(2) 残事業	B/C = 4.6	118億円	26億円
2 事業の整備効果等			
<ul style="list-style-type: none"> ・異常気象時における安全な交通の確保 ・急カーブ・幅員狭小箇所の解消による交通の円滑化 ・塩原温泉郷へのアクセス性強化による観光支援 			
事業の進捗状況等			
1 事業の進捗状況			
・1期工区(L=1.6km)は平成23年9月に供用開始		・2期工区(L=2.0km)は事業推進中	
2 今後の事業進捗の見込み			
・3期工区1.0kmの事業休止		・2期工区は平成32年度に供用予定	
コスト削減等			
1 コスト削減方策			
・再生骨材、再生アスファルト合材を活用し、コストを削減			
2 代替案立案等の可能性			
・2期工区は、トンネル・橋梁等、主要構造物が完成又は工事中であるため、代替案の計画は困難			
事業の対応方針(案)		今回計画案で事業を継続する。	

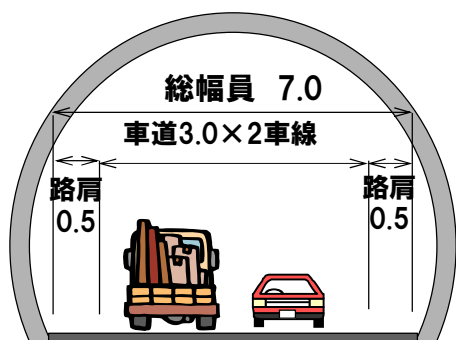
事業箇所（位置図・概要図）

一般国道 400 号 下塩原バイパス

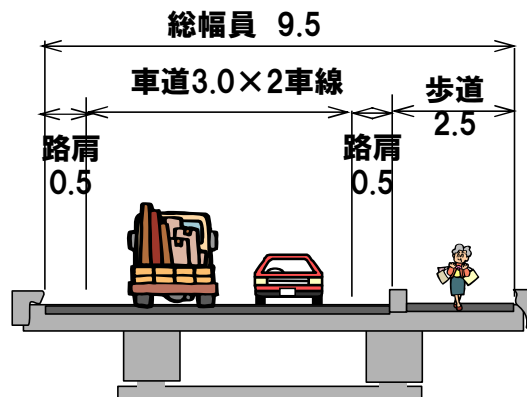


標準横断面図

(トンネル部)



(橋梁部)



概要図

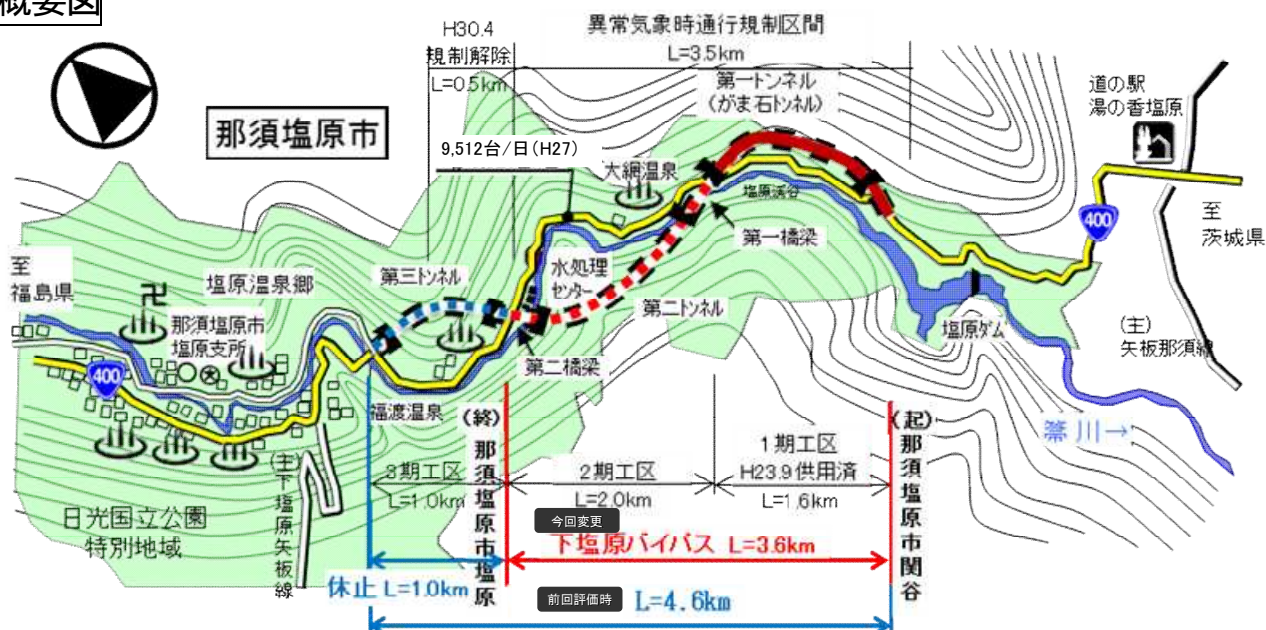




写真 1 : 現道の状況 (すれ違い困難状況)

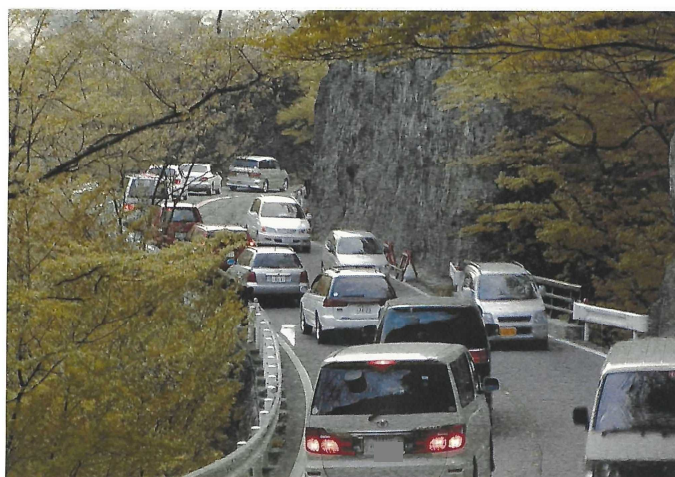


写真 2 : 現道の状況 (渋滞状況)



写真 3 : 供用済区間 (第 1 トンネル)